

必読!

## 春闘 交渉

# みんなの声 届けます!!

3月4日、当局から春闘要求書の回答がありました。

春闘期では、今まで仲間から出された声や職場実態アンケートをもとに、労働条件の改善や職場環境の改善を当局に訴えていきます。

交渉になれば、青年部4役が青年部を代表して交渉に参加します。組合だからこう言おうとか関係なく、日頃思っていること、悩みがあれば周りの人や青年部4役や幹事にぶつけてみてください!

その思いを交渉に持っていきます!

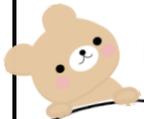


☆今後の日程☆

3月 8日～ 重点交渉期間

3月18日 春闘山場

# 給与制度の総合的見直し 前進回答



青年部

## ステッカー行動の成果!!

16年4月から、「名寄市でも給与制度の総合的見直しを導入したい」と当局から申し入れがあり、実損額が一番多い私たち青年部ではステッカー行動に取り組みました。

基本組織で開催した総合的見直しについての学習会の後や職場班会を開催し、それぞれに計算した生涯実損額とみなさんの思いを記入してもらった結果…集まったステッカーの数は約100枚にもなりました！

そのステッカーを、4役も参加した2月22日の副市長交渉の会場に張り出し、みなさんの声を伝えることで前進回答をめざしました。

結果として総合的見直しは導入されることになりましたが、「プラスを超えない限りで実損額の改善を図っていきたい」と、「削減により生じた財源については人員の補充にあてるため、各職場に早い段階で話を下ろしたい」といった、前進回答も勝ち取る事ができました。また、副市長はステッカーに書かれている青年の声について何度も言及していました。

これから春闘期の交渉が行われ、青年部からは4役が参加する予定です。

今回の春闘では特に人員配置と時間外手当の支給を重点として訴えていきます。みなさんの伝えてほしいこと等がありましたら青年部幹事・4役まで「意見ください」！



副市長交渉の会場の様子です！  
当局もこの枚数には驚いていました！



【給与制度の総合的見直し】とは...

人事院は、2012 報告で地域間格差は収縮したと報告したにも関わらず、公務員給与への批判や自民党の選挙公約である『Jファイル 2013』を背景として、2013 人事院勧告で給与制度の総合的見直しに着手することを報告しました。民間賃金の低い12県を用いて地域間格差を算出し、官民給与の実情をより適切に反映するための見直しや、官民給与差を踏まえた50歳後半半層の水準の見直し、公務組織の特性等を踏まえた諸手当の見直しを行うものです。内容としては、俸給表の平均2%引き下げ、地域手当の見直し、広域異動手当や本府省手当の増額等で、引き下げとなった分で生まれる原資は地方公務員にはほぼ非該当となる手当に充てられます。

生涯賃金で考えると一般行政職では約350万円、医療職では約400万円もの削減になります！！